

警備員集め直し「大変」

東京五輪の延期に伴い、札幌開催のマラソン・競歩が当初予定とはほぼ同じ日程の来年8月に行われる見通しとなった。ただ、今夏の実施に向けてすでに延べ1万人以上の警備員を集めていた道内の警備業界からは、人手不足を背景に「集め直すのは大変」と戸惑いの声が上がっている。新型コロナウイルスの感染拡大で、警備が必要な各種イベントの中止も相次いでおり、打開策を探る動きも始まった。(野呂有里、山岡正和)

1.3万人確保の五輪延期



車両侵入防止柵など五輪マラソン・競歩の警備に向け準備が進んでいた警備業界。延期に伴う再準備が課題だ

道内繁忙期で再調整難しく

「加盟社に頼み込み、警備員を確保できたばかりだった」。道内の警備会社でつくる北海道警備業警備協会(札幌)の木田義信会長は困惑する。

札幌では当初7月22日から8月9日にかけて、サッカー1次リーグとマラソン・競歩を予定。木田会長は、マラソン・競歩の札幌開催が急ぎよ決定した昨年11月から約160社に協力を求め、期間中に必要な警備員延べ1万3千人の確保にこぎつけた。だが五輪延期が決まったのは、確保にめどが立たなかった3日後。道内聖火リレーの警備員も集め直すことになった。

五輪の新日程は来年7月23日開幕、8月8日閉幕に決定。国際オリンピック委員会(IOC)は、マラソン・競歩を札幌で大会最終盤の4日間に開催するとしている。ただ8月もともと警備業の繁忙期。昨年8月の警備員の有効求人倍率は約5倍と人手不足に悩んでおり、来年も

再び人員を集められるか不透明だ。木田会長は「警備会社が少ない地域で再調整するのは容易ではない」と嘆く。

札幌では6月のYOSAKOIソーラン祭り中止が発表されるなど、新型コロナウイルス問題に伴うイベントの開催自粛が長期化することへの懸念も高まっている。札幌の警備会社の男性経営者は「五輪警備は収入減を取り返す大きなチャンスだった。延期で経営へのダメージは広がる一方だ」と不安を訴える。

打開策を模索する企業もある。札幌市東区の警備用品会社「トライ・ユー」は感染症対策を充実させた上で催しを開けるよう、体温を計測できるサーモグラフィ機能のあるカメラを導入し、4月からイベント主催者に貸し出す業務も始めた。

同社は五輪マラソン・競歩会場などに、独自開発した暴走車の侵入防止柵納品を目標としている。五輪は延期となったものの、今年も道内で他の催しが行われれば、柵の活用を期待できる。同社の上杉章社長は「安全に人が集まることのできる環境をつくる経験を重ね、来年の五輪開催に生かしたい」と話している。

■ 新型コロナ関連ニュース

箱館五稜郭祭「碑前祭」

【函館】箱館戦争の歴史を目的に5月16、17の両日開かれる予定だった「箱館祭協賛会主催」は規模を縮小し16日の「碑前祭」のみとなった。新型コロナウイルス拡大防止のため、恒例の「雄方歳三コンテスト」全国大会も同祭は1970年で51回目。悪天候などで一きよ中止した例はあるが、縮小を決めたのは初めて。

ミス・サイゴン札幌

東宝は8日、新型コロナウイルス拡大を受け、4月と5月を迎える各舞台公演とそれら公演を中止すると公式発表した。7月3～6日に札幌文芸大ホールで公演予定だったミス・サイゴンも中止となる。チケットの払い戻し方法される道新プレイガイドの(https://doshin-playen)で発表する。問い合わせは570・00・3871へ

札幌まつり 中島公園

新型コロナウイルスの札幌市は8日、北海道札幌まつりの関連イベント園(中央区)での露店出店は出店の受け付けを中止にした。

同日の新型コロナウイルス

本部会議で説明した。例年中、400軒を超す屋台が延べ40万人超が訪れる。16日の予定だった。しかし

解体修繕空き家752件

白カブ春の輝き 七飯で収穫始まる

荷を始めており、「今年は生育が良い。甘みが強く、浅漬けでも生で食べてもお